

The RIHN Futurability Initiatives International Symposium 2014:  
**Humanity *in* Nature: What ought to be?**

地球研未来設計イニシアティブ国際シンポジウム2014：  
**「地球環境のあるべき姿」の探求**



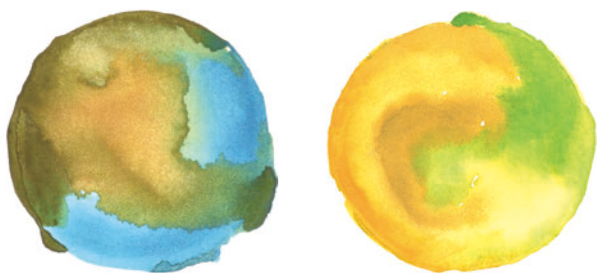
Date: Monday 24th March, 2014

2014年3月24日(月)

10:00~17:00

Venue: Tokyo International Forum (D7)

東京国際フォーラム ホールD7



**聴講無料 / 定員120名**

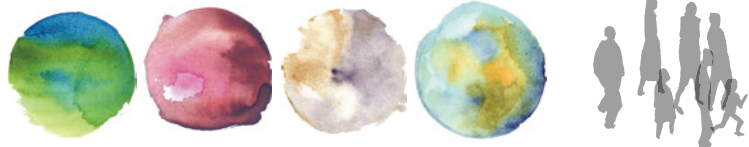
(※お申込み先着順)

Language: Japanese / English (simultaneous interpretation provided)

言語: 日本語 / 英語 (同時通訳有 / スライドは日英併記予定)

Organiser: Research Institute for Humanity and Nature (RIHN)

主催: 大学共同利用機関法人人間文化研究機構 総合地球環境学研究所



# 地球研未来設計イニシアティブ国際シンポジウム2014: 「地球環境のあるべき姿」の探求

総合地球環境学研究所(地球研)は、地球環境学の総合的研究を行う大学共同利用機関として2001年に創設されました。地球研は、「地球環境問題の根源は、人間文化の問題である」と位置付け、既存の学問分野の枠組みを超えて「総合地球環境学」を構築することをめざしています。

地球研ではこれまで、「人間と自然系の相互作用環」について、認識科学の方法による問題把握と、設計科学に基づく未来設計の両面を追及してきました。とくに、2010年に発足した未来設計イニシアティブでは、これまでの地球研プロジェクトの成果を統合し、「科学と社会の共創」として地球環境問題の様々なステイクホルダー(利害関係者)と共に、人間文化と地球環境のあるべき姿を探るべく、3つの基幹研究プロジェクトを立ち上げています。

本シンポジウムは、このような地球研の活動が地球環境問題の解決へ向けてどのような役割をはたしているかを検証し、地球環境のあるべき姿についての議論の場を、多種多様なステイクホルダーと共に創ることを目的としています。地球環境問題については、人類のひとりひとりがステイクホルダーと言えます。様々な立場のゲスト、会場の来場者に加え、インターネットによる会場外からの参加により、「地球環境のあるべき姿」の探求がさらに活性化することを期待しています。

## プログラム (変更の可能性あり)

### Session 1 : Welcome to the Futurability and Design-Oriented Science

10:00-12:20

#### 第一部：講演「設計科学と未来可能性」

“Planetary Boundaries (地球の限界)”パラダイムに対する法的反応について:いかに国際法を転換するか?

— Peter Roderick (法廷弁護士、Planetary Boundaries Initiative 共同設立者)

地球環境研究の国際的枠組み作りと地球研基幹研究プロジェクト

— 谷口 真人 (総合地球環境学研究所 プログラム主管・教授)

地球規模巨大リスク軽減に向けた人間中心主義と生態主義の収斂

— Seth Baum (Global Catastrophic Risk Institute 共同設立者・代表)

Android/iOSアプリ「Consilience Cyberspace(統合知電腦空間)と環境観でつながる世界」先行公開デモンストレーション

— 半藤 逸樹 (総合地球環境学研究所 特任准教授 / Consilience Cyberspace 共同開発者)

進行: Steven R. McGreevy (総合地球環境学研究所 特任助教)

### Session 2 : Transdisciplinary Integrations

13:30-14:50

#### 第二部：討論「地球研の超学際研究プロジェクト」

統合的水資源管理のための「水土の知」を設える

— 窪田 順平 (総合地球環境学研究所 教授)、江守 正多 (国立環境研究所地球環境研究センター気候変動リスク評価研究室 室長)

地域環境知形成による新たなコモンズの創生と持続可能な管理

— 佐藤 哲 (総合地球環境学研究所 教授)、Salvatore Aricó (UNESCO上級プログラム・スペシャリスト (生物多様性評価および機関間調整担当) / 国連大学高等研究所 上座客員研究員)

進行: Hein Mallee (総合地球環境学研究所 特任教授)

### Session 3 : Panel Discussion — Societal Transformation towards the Future

15:05-17:00

#### 第三部：パネルディスカッション「人類の未来を切り拓くための価値と行動」

パネリスト (アルファベット順)

Salvatore Aricó, Seth Baum, 江守 正多、

福井 晴敏 (小説家)、龜石 太夏匡 (リバースプロジェクト 共同代表)、

Peter Roderick、安成 哲三 (総合地球環境学研究所 所長)

コーディネーター: 香坂 玲 (金沢大学人間社会環境研究科 准教授)

## お申込み方法

はがき・FAX・電子メールのいずれかで①郵便番号・住所、②氏名(ふりがな)、③電話番号、④FAX番号またはe-mailアドレスを明記し、下記お申し込み先へお申込みください。FAX、電子メールには「地球研未来設計イニシアティブ国際シンポジウム」とご明記下さい。

お申込み・問い合わせ先 2014年3月14日(金)必着

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457-4

総合地球環境学研究所 研究推進戦略センター 基幹研究ハブ部門

TEL:075-707-2378 FAX:075-707-2513

電子メール:FutureRIHN@chikyu.ac.jp

※この申込みを通じて得た個人情報は、本シンポジウムの連絡のみに使用させていただきます。  
※インターネットを使ったストリーミング放送による中継を行います。予めご了承の上お申し込みください。  
※受講票の発送をもって受付の連絡とさせていただきます。

## 会場

東京国際フォーラム ホール D7

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号



東京駅より徒歩5分(京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)

当日はインターネットによるストリーミング放送を行います。また、リアルタイムでTwitterによる質問・コメントを受け付け、来場者、ストリーミング視聴者と共に議論を組み立てます。当日ご来場できない方も、是非ご参加下さい。

※Twitterでの質問・コメントの際は、ハッシュタグ #rihni を忘れずに入れてください。

※会場では、質問用紙による質問・コメント(120字以内)も同時に受け付けます。

シンポジウム公式Twitterアカウント  
@FutureRIHN

